

2014年6月19日

株式会社メディアグローバルリンクス

アジア競技大会の映像伝送ネットワークに MD8000 が採用されました

株式会社メディアグローバルリンクス（以下「メディアグローバルリンクス」、代表取締役社長 林 英一）は、9月19日より韓国 仁川で開催される第17回アジア競技大会（以下、アジア大会）の映像伝送ネットワークにマルチメディア IP 伝送装置「MD8000」が採用されたことを発表しました。

アジア大会はアジアオリンピック委員会（OCA）が主催する総合競技大会です。今回は韓国 仁川広域市を中心に開催され、OCA に加盟する全 45 の国や地域から 36 競技に約 13,000 人のアスリートが参加し、過去最大規模の大会になる見込みです。今回のアジア大会における伝送ネットワーク全体は SK Telecom が担当し、その中の国際放送用映像伝送ネットワークを KT Corp が担当しています。「MD8000」は、仁川広域市および周辺の 17 競技場に設置され、国際放送センターと各競技場との間で高い信頼性と安全性を保ちながら効率的な伝送を行います。実際のネットワークについては、メディアグローバルリンクスの韓国代理店である DONGYANG DIGITAL CO., LTD が構築します。

韓国では、昨年、公共放送局である KBS と大手商業放送局である MBC がそれぞれメディアグローバルリンクスの「MD8000」を採用し、次世代放送用基幹ネットワークを構築しました。今回のアジア大会における採用により、韓国におけるメディアグローバルリンクスの事業基盤は一層強固になります。さらに、韓国ではアジア大会をきっかけとして、4K テレビ放送の普及が加速すると見込まれています。高精細の映像を伝送するためにネットワークインフラの高度化ニーズが高まり、メディアグローバルリンクスの製品への需要は拡大するものと期待されています。

以上